

衆議院比例四国・名簿登載予定

# 比例は日本共産党

# ジェンダー平等社会へ 四国から女性衆院議員を



白川よう子



LINE 公式アカウント



31日投票の愛媛県砥部町議選で、佐々木隆雄さんが4期目の当選を果たしました。



1月31日、四国から女性衆議院議員を送るつどい(実行委員会主催)が松山市で開かれ、白川さんはオンラインであいさつしました。来島頼子実行委員長が「今日は白川さんと双方向でやり取りし、理解と確信を深めよう」とあいさつ。呼びかけ人の田淵紀子松山市議(こども未来)が司会し、武井多佳子県議(ネットワーク市民の窓)が「男女平等社会が本当の民主主義社会につながる。ジェンダー平等をかかげて頑張る」とエール。13人が発言しました。歌人の大川史香さんが「未来指す 羅針盤たれ白川よう子 新しき明日必ずや来る」と応援歌を披露しました。

24日、オンライン配信で「みんなのエール」が開催されました。「ジェンダー平等社会へ、四国に女性衆議院議員を 白川よう子さんの国会での活躍に期待します」の訴えに名前を連ねている、香川県の「呼びかけ人」の皆さんの企画です。  
実行委員長は佐藤倫子弁護士、副実行委員長は渡辺智子元香川県議と井角操新社会党県本部委員長。医師、原発ゼロ、保育士、環境問題、青年、市議や元市議らから「政治に失望してあきらめている人もいるが、あきらめてはいけません。白川さんは信頼できる人です」「白川さんを国会に送るためには日本共産党と書かないといけない。それを伝えていきたい」などのエールが。  
永江孝子参院議員(愛媛県)と私のコラボトークでは、新型コロナやジェンダー平等問題などを語りあいました。立憲民主党の小川淳也衆院議員が挨拶、国民民主党の玉木雄一郎代表、市民連合@かがわからメッセージ。会うことが難しい時だからこそつながり、新しい政治をつくり出す希望がここにあると、エールが響き合うオンライン集会に。31日も愛媛の呼びかけ人の皆さんによるオンライントークイベントが開かれました。  
自・公・維が「G.O.T.」事業などを盛り込んだ3次補正成立を強行。罰則規定を盛り込んだコロナ特措法等の改定案も審議入り。必要なのは罰則ではなく、正当な補償です。国民の苦難に向き合えない政権をみんなの力で何としても変えたい。

よう子記

\*\*\*\*\*